



イマジン  
ロータリー

# Weekly Report

クラブ会長テーマ

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ

親睦と奉仕！みんなの力で

## 第 2544 回例会報告

月 日：令和 5 年 4 月 26 日（水）

会 場：例会場

司 会：S A A

開会点鐘

ロータリーソング：我等の生業

お客様の紹介

津戸 敦子様 津戸弘樹会員夫人

会長報告

きょうは外は雨です。故津戸最会員の通夜の日も雨でした。津戸最会員が天と地をつなぐ計らいをしているのかと思います。

幹事報告

北島正典幹事

● 5 月の例会予定

3 日 祝日休会

10 日 例会 クラブフォーラム

17 日 5/15 国立白うめ RC30 周年式典に振替

24 日 例会 卓話

31 日 5/28 親睦旅行に振替

出席報告

出席奨励委員

4 月 26 日 在籍 40 名中 出席 37 名

28 日前の出席率 3/29=休会

閉会点鐘

寺澤会長

■ 追悼式次第

1. 黙祷

1. 追悼の言葉 寺澤 武会長・小澤孝造会員

1. 献花

1. ご遺族挨拶



## 故津戸最会員 追悼例会

■ 開 式

司会：北島正典幹事

ただ今より、故・津戸最会員の追悼式を開式いたします。故・津戸最会員は、3月18日にご逝去されました。ご家族の悲しみは如何ばかりかと、お察し申し上げます。また、当クラブにとりましても、かけがえのない人材を失いました。

故・津戸最会員の、クラブでの業績、あるいは人となりについては、後ほど語られますので省略し、はじめに故・津戸最会員の在りし日をするのび、ご冥福をお祈りして、全員で黙祷をささげます。 —黙祷—

■ 追悼の言葉

会長 寺澤 武

故津戸最会員の遺影を前に、クラブを代表し謹んで追悼の言葉を述べさせていただきます。

津戸最会員は療養中であつたことは聞いておりましたが、2022 年サッカーワールドカップでは早起きをしてサムライブルーを元気に応援していたとの話を聞いて安心しておりましたが、突然の訃報に接し非常に驚きました。

津戸最会員は 1976 年 7 月 4 日に当クラブへ入会し、47 年を迎えようとしておりました。1987 年度にはクラブ会長を、翌年度には多摩中グループ分区代理(現在のガバナー補佐)を務められ、東京国立ロータリークラブのみならず、多摩中グループ各クラブの会員の声を聞き、アドバイスをすることにより、各クラブの活性化を導きました。

津戸最会員との思い出は、毎回例会時には受付のそばに立ち、優しく声をかけてくださいました。私が親睦委員長の際には、納涼家族例会で足が悪いにもかかわらず、横浜中華街の散策やディナークルーズにご参加いただきました。

また、2017 年小澤谷守年度には会員増強委員長を務められ、46 名の会員数から 50 名クラブへの確立、そして、次年度 50 周年の記念事業として会員 60 名クラブの達成を目指そうではないかと力強くお話しされたことが大変印象に残っております。

津戸最会員と初めてお会いした時にはお堅い人

物とお見受けいたしました。実は温かい心を持った、優しさの溢れるお人柄であると解るまでには時間がかかりませんでした。

本日、ロータリー精神を持って行動し、ロータリーの真髄を理解された故津戸最会員の追悼例会を開催するにあたり、在りし日をしのいで、心からご冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉と致します。どうぞ安らかに眠りください。

2023年4月26日 2022-23年度会長 寺澤 武  
■追悼の言葉 小澤孝造

津戸最君の遺影の前に、在りし日をしのび追悼の言葉を申し述べさせていただきます。

津戸君、君は物事に夢中になり、役になりきる情熱的な性格の持ち主でした。学生時分、君と二人で喫茶店に行く珈琲代がないので、珈琲代を捻出しようという事で、君が苦学生になるという形を取って、私の知り合いの所に行き、いわゆる窮状を役者以上の演技でもって同情をかけて珈琲代を稼いだというような事もありました。

本当にその時の津戸君の演技力はたいしたものでした。私も未だにあの時の情景を思い出す度に、君の演技力の素晴らしさに感嘆しています。付け加えましょう。津戸君は三井銀行の例会場の後、必ず麻雀の仲間を引き連れて雀荘に行く、これが日課というか勤めのご様子で、しかも自分の負けが込むと徹夜も辞さないというような意気込みで、我々が辟易としていたのを知っていましたか。そのように君は何事においても執拗に頑張りとおす方でした。二人でやった古い思い出はまだまだ色々ありますが、今日は昔行った悪い事の披露を遠慮して、君の素晴らしかったところを思い出すことにしましょう。宮司が神社庁に勤めて、副庁長にまでなり、そして官位は特級・浄階という階級をもらって、緋の装束を着るほどまで頑張りました。後輩の皆さんに分かり易く言うと、昔の軍隊で言う大將の位にまで上り詰めた訳で、この辺の神社でそのような緋色の衣を着たという宮司はおりません。この特級・浄階というのは、神社界全体でも二桁居るかないかというような立派な位で、本当によくそこまで頑張ったなあと思えます。それはさておいて宮司が亡くなってから聞いたところによると、50日祭を終わると納骨、そしてお宮に入るという事で、あの世に行く事は無いそうですね。一寸気になるのですが、本当のところあの世では麻雀仲間が今来るか今来るかと待っていると思えますので、神棚に入ってからあとも何とか抜け出

して仲間と麻雀を大いに楽しんで下さりたいのです。

こうして思い出せば色々とききせぬ言葉がある訳ですけど、どうも今私は杖を持って悲しみに震えております。津戸君安らかに眠りください。そして神棚に入ってからあの世との交渉を絶やさぬようにしていただければと思っております。追悼の言葉になったかどうかはわかりませんが、私からのお別れの言葉とさせていただきます。

■ご遺族ご挨拶 津戸弘樹

本日は父津戸最のために追悼例会を催して下さりまして誠にありがとうございます。国立ロータリーの皆様には葬儀でも大変なご協力をいただきまして、また本日このように偲ぶ会を開いていただきまして父は大変喜んでおります。父の仕事は神職でしたけれどもロータリー活動に大変な誇りとそして情熱を持っていました。特に記憶に残っているのが、もう何年も前の事だと思えますが、グアムの大学の学生さんに奨学金を出した事が有ると思えます。その時友情の奨学金って英語で何て言うのかなという風に聞かれまして、あちらの方達ともやり取りをしている様子で張り切っている姿が昨日の事の様に思い出されます。たまたまなんですけれども、その後に家族でグアム旅行をする事がありまして、その時にあちらのメンバーの方の何人かとお目にかかれました。皆さんその奨学金に感謝していると、嬉々として話されまして、私はまだロータリーのメンバーになる前だったんですけれども、ロータリークラブのネットワークとか、あとは奉仕事業を垣間見て感心したのを覚えています。

残念ながら父はこの世を去りましたがロータリーでの活動は記録に残りますし、また皆様の記憶の中にも残っていくのではないかと思います。生前皆様に賜りましたご厚情に深謝するとともに、ここに本日の追悼例会に妻敦子ともども更に深く感謝申し上げます。どうぞありがとうございました。

